

令和7年度における具体的施策（重点施策）の成果、課題について（概要）

No.	具体的施策（重点施策）	成果、課題、意見等
1	生涯学習教室「三朝大学」の充実	【成果】 ・アンケートを基に内容を更新し参加者を保持した。 ・「避難所運営」など従前に無い企画を盛り込んだ。 【課題】 時代に即したテーマを選び、参加者数の維持に努める。 内容の固定化を避け、講座の継続的な練り直しを図る。
2	子ども・若者を対象とした体験型学習機会の創出	【成果】 ・城陽市との小学生交流事業（2泊3日の受入） ・旅館や旧校舎を活用して熱中症対策に留意できた他、三朝町らしさを提供することができた。 【課題】 ・準備から片付けまで生徒が主体的に動く仕組み作り。 ・交流事業の卒業生をボランティアとして活用するなど。
3	住民提案型講座の制度化	【意見等】 三朝大学を参考に、幅広い世代が興味を持つテーマを募る。
4	既存施設、設備の活用促進	【意見等】 ・予算上該当する事業はないが、備品貸出簿が備えてあり、随時貸出対応を行っている。 ・公共施設予約システムによる町有施設の可視化を推進していく。
5	スポーツ、芸術・文化活動情報の一元化	【意見等】 ・町 HP や防災無線、町報掲載など、広報に努めている。（町 HP 新着情報は町公式 SNS 等でも自動発信） ・行事カレンダーのような情報の一元化は未着手。 ・予約システムの導入を進め、施設利用情報の一元化を図った。 ・システムを通じた更なる利便性の向上を検討する。
6	地域の学び舎プロジェクト（仮称）の展開	【意見等】 ・地域協議会と意見交換を行い、ニーズを把握する。 ・地域協議会の反応の早さを活かしテーマを絞り込む。 ・他市町村の取組事例を参考に具体的な施策を練る。
7	歴史・文化講座の開催	【成果】 ・神倉遺跡発掘の成果及び三徳山に関連する調査結果の報告の場を設けた。（R8.3.14 三徳学講座） 【課題】 ・文化財全般について、子どもたちへの周知を強化する。